



シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I 科目-B7 現代経済と 企業活動	20140586005301	●現代経済と 企業活動 I (経済活動 と社会)	和	E	工藤 健	1年,2年,3年,4年	後期	木 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I 科目-B7 現代経済と 企業活動	20140586005701	●現代経済と 企業活動 I (企業の仕 組みと行動)	和	E	吉田 高 文	1年,2年,3年,4年	後期	木 1	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I 科目-B7 現代経済と 企業活動	20140586006101	●現代経済と 企業活動 I (経済政策 と公共部門)	和	E	藤田 泰 昌	1年,2年,3年,4年	後期	金 2	～

[戻る](#)

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-B7 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 2										
開講期間													
必修選択	選択	単位数	2.0										
時間割コード	20140586005301	科目番号	05860053										
授業科目名	●現代経済と企業活動Ⅰ(経済活動と社会)												
編集担当教員	工藤 健												
授業担当教員名(科目責任者)	工藤 健												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	工藤 健												
科目分類	全学モジュールⅠ科目												
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目										
教室	[教養B棟]B-44												
対象学生（クラス等）													
担当教員Eメールアドレス	tkudo@nagasaki-u.ac.jp												
担当教員研究室	経済学部（片淵キャンパス）本館5階521研究室												
担当教員TEL	内線：経済学部369												
担当教員オフィスアワー	月曜日16:00－19:00または各回の授業終了後												
授業の概要及び位置づけ	経済活動とは生計をたてるための人類の活動の総体である。豊かさを生み出す経済活動を支える市場メカニズムについて理解を深めるために、その利点と欠点について、現実の経済活動に結びつけて議論していく。												
授業到達目標	この講義を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待される。 (1)経済分析に基づいて市場や政策による資源配分の評価を行なうことができる。 (2)市場メカニズムの優れている点とその限界について説明できる。 (3)授業のテーマと現実の経済活動などに関連づけて議論できる。												
授業方法（学習指導法）	(A)各テーマに対応した教室内実験や演習を実施し、その結果をグループで議論する。 (B)LACS掲載の資料などを用いて分析手法を学び、Web課題で理解度を確認する。 (C)グループで自習内容の理解を共有し、必要に応じて教員がミニ・レクチャーを行なう。 (D)各自の知識や経験に基づいて授業内容との関連づけを行ない、グループやクラスで共有する。												
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回の授業で、授業方法や内容の詳細について説明するので、必ず出席すること。 ・第1回の授業を欠席した履修希望者は、必ず担当教員に連絡すること。 ・原則として、授業方法の(A)を各テーマの前半の授業で実施し、(B)を自習、(C)と(D)を各テーマの後半の授業で実施する。 <p>*各回のテーマや内容については、受講者の関心や理解度に応じて変更もありうる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション：経済学で考えること</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>市場は最大多数の最大幸福をもたらすか？（前半）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>市場は最大多数の最大幸福をもたらすか？（後半）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>政府は増税で税収を増やせるか？（前半）</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクション：経済学で考えること	2	市場は最大多数の最大幸福をもたらすか？（前半）	3	市場は最大多数の最大幸福をもたらすか？（後半）	4	政府は増税で税収を増やせるか？（前半）
回	内容												
1	イントロダクション：経済学で考えること												
2	市場は最大多数の最大幸福をもたらすか？（前半）												
3	市場は最大多数の最大幸福をもたらすか？（後半）												
4	政府は増税で税収を増やせるか？（前半）												

授業内容	5	政府は増税で税収を増やせるか？（後半）	
	6	企業はどのようにして販売量を決めるのか？（前半）	
	7	企業はどのようにして販売量を決めるのか？（後半）	
	8	政府は知的財産権を保護するべきか？（前半）	
	9	政府は知的財産権を保護するべきか？（後半）	
	10	政府や市場は資源の浪費を食い止められるか？（前半）	
	11	政府や市場は資源の浪費を食い止められるか？（後半）	
	12	政府や市場は環境汚染を食い止められるか？（前半）	
	13	政府や市場は環境汚染を食い止められるか？（後半）	
	14	政府や市場は取引における品質偽装を防げるか？（前半）	
	15	政府や市場は取引における品質偽装を防げるか？（後半）	
	16	授業の総括（定期試験など）	
	キーワード	市場メカニズム, 資源配分の評価, 市場の失敗	
	教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の教科書を使用せず, LACSに資料を掲載する。また, 必要に応じて授業中に教材を配布する。 【参考書】 <ul style="list-style-type: none"> ・クルーグマン, ウェルズ『クルーグマン ミクロ経済学』, 東洋経済新報社, 2007年。 	
	成績評価の方法・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ・平常点: LACS上のWeb課題30%, 授業中の課題と参加状況45% ・試験: 定期試験25% *単位修得のためには定期試験を受験する必要がある。 *不合格者(成績Dの学生)に対する「再試験」は実施しない。	
	受講要件(履修条件)		
備考(URL)			
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の円滑化のため, 毎回の授業に出席すること。 ・授業中にウェブに接続できるパソコン等を準備すること。 ・Socrative http://m.socrative.com/ *Socrativeについては, iTunes storeやGoogle play storeで「Socrative Student」をダウンロードしてもよい。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-B7 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586005701	科目番号	05860057
授業科目名	●現代経済と企業活動Ⅰ(企業の仕組みと行動)		
編集担当教員	吉田 高文		
授業担当教員名(科目責任者)	吉田 高文		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉田 高文		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生(クラス等)	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	taka-yo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館525		
担当教員TEL	0958206348		
担当教員オフィスアワー	前期火曜日17:00~18:00 後期月曜日13:00~15:00		
授業の概要及び位置づけ	自由な経済は自由な企業活動によってもたらされる。そして企業活動が豊かな生活を創造する。企業組織の基本的な仕組みや、企業の行動がどのように決まるかについて理解する。		
授業到達目標	新聞やニュースなどで報道される経済や経営の話題に関心を持ち、その内容を理解できるようになる。		
授業方法(学習指導法)	授業は講義形式。テキストは使用しない。授業中の説明は板書と教員が作成した資料を使って行う。授業内容の質問は、各回の授業終了後直接または電子メールで随時受け付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	マクロ経済学(その1)貯蓄と投資の均衡	
	2	マクロ経済学(その2)45°線分析	
	3	マクロ経済学(その3)IS-LM分析	
	4	マクロ経済学(その4)雇用と総供給曲線	
	5	ミクロ経済学(その1)相対価格	
	6	ミクロ経済学(その2)消費者行動	
	7	ミクロ経済学(その3)生産者行動	
	8	経済学のまとめ	
	9	中間試験の実施	
	10	企業経営(その1)会社の設立	
	11	企業経営(その2)事業機会と経営戦略	
12	企業経営(その3)人的資源管理		

	13	企業経営（その4）生産管理
	14	企業経営（その5）経営分析
	15	企業経営（その6）企業組織と経営事例
	16	期末報告書の提出
キーワード	生産者行動、企業経営	
教科書・教材・参考書	授業の教材としてプリントを配布する。教科書を使用する場合は第1回の授業で説明する。	
成績評価の方法・基準等	中間試験50%、期末報告書（レポート）50%。	
受講要件（履修条件）	なし。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	「経済学、経営学は面白い」と感じてほしい。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-B7 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586006101	科目番号	05860061
授業科目名	●現代経済と企業活動Ⅰ(経済政策と公共部門)		
編集担当教員	藤田 泰昌		
授業担当教員名(科目責任者)	藤田 泰昌		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤田 泰昌		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	fujitaf@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	片淵キャンパス 経済学部本館 6 0 6		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後および水曜11:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ	経済政策は「その国の経済全体にとってどのような政策が望ましいのか」という観点のみから決まっているわけではない。本講義では、どのような公共部門・政治のメカニズムが経済政策に介在しているのかを考察する。		
授業到達目標	政治的側面から社会現象を捉える思考様式を把握することを目標とする		
授業方法（学習指導法）	レジュメと資料を用いる講義形式と、グループ・ディスカッション等を取り入れた参加型授業形式を併用する		
授業内容	以下のような流れで授業を展開する。①民主主義体制下の基本的な政治メカニズムおよび主な政治制度について、担当教員から説明を行う。②①を踏まえて、各 政治制度が経済政策をどのように左右しているのかについてグループ・ディスカッションで検討する。		
	回	内容	
	1	イントロダクション：経済政策を政治的側面から考える	
	2	経済政策にはどのようなものがあるか	
	3	どのような経済政策が望ましいのか（グループ・ディスカッション）	
	4	経済政策は国家間でどのように異なるのか	
	5	民主政治とはどのようなメカニズムか	
	6	政治体制は経済政策にどのような影響を与えるか①	
	7	政治体制は経済政策にどのような影響を与えるか②	
	8	政治体制は経済政策にどのような影響を与えるか③（グループ・ディスカッション）	
	9	政党とはどのような存在か	
10	政党は経済政策にどのような影響を与えるか（グループ・ディスカッション）		

	11	選挙制度はどのように分類されるか
	12	選挙制度は経済政策にどのような影響を与えるか（グループ・ディスカッション）
	13	連立政権は経済政策にどのような影響を与えるか（グループ・ディスカッション）
	14	行政のあり方はどのように分類されるか
	15	行政のあり方は経済政策にどのような影響を与えるか
	16	
キーワード	経済政策、政治制度	
教科書・教材・参考書	特になし	
成績評価の方法・基準等	グループ・ディスカッション等への貢献（50%）、期末レポート（50%）	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	新聞やニュースで見聞きするニュースを授業内容と結び付けて理解するよう心掛けてください	

